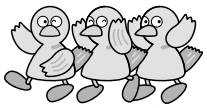


埼玉県獣医師会会報

第606号

（定時総会通知）

平成26年４月20日編集

発　行　所

公益社団法人　埼玉県獣医師会

〒330-0835　さいたま市大宮区北袋町1-340
（埼玉県農業共済会館内）
電　話　048(645)１９０６
ＦＡＸ　048(648)１８６５
E-mail：s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL：http://www.saitama-vma.org/
振替口座　00110－9－195954番

発行責任者　髙　橋　三　男
編集責任者　三　森　信　行
印　刷　所　㈱アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

定時総会通知

公益社団法人埼玉県獣医師会第66回定時総会並びに埼玉県獣医師政治連盟総会開催… 1

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について（情報提供）…… 2

改正薬事法の施行に伴う動物用医薬品のインターネット販売に関する周知依頼 … 2

学術

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）、獣医学術関東・東京合同地区学会開催案内、発表演題の募集…… 5

会務報告

第５回理事会…… 9
第６回理事会……10

予告

南第一支部、南第二支部合同学術講習会のお知らせ……10

新入会員報告

新入会員紹介……11

ひろば

新入会員の抱負……12
西支部学術講習会開催報告……12
県幹部職員の就任挨拶について……13

お知らせ

衛生支部・農林支部会員の異動状況……14
春季合同学会参加登録費の助成等について…17
埼玉県獣医師会提携ローンについて……18

切り抜きニュース

○見えぬ敵　制圧に全力
―熊本で鳥インフルエンザ―……20
○日豪首脳ＥＰＡ合意
―牛肉関税引き下げへ―……21

埼玉県獣医師会学術広報版 ……22

事務局より

事務局メモ……23

編集後記 ……24

公益社団法人 埼玉県獣医師会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会員は

1．動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1．獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1．動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1．環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1．職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

総会通知

公益社団法人埼玉県獣医師会第66回定時総会
並びに　埼玉県獣医師政治連盟総会開催

定款第14条に基づき定時総会を次のとおり開催いたしますので、会員の皆様多数のご出席をお願いします。

なお、準備の都合上、出欠について、５月27日（火）までに本会報に同封のハガキ（「出欠報告・委任状」）にてご報告（ハガキを返送）下さい。

公益社団法人埼玉県獣医師会第66回定時総会開催

１．日時　**平成26年６月11日（水）**
午後２時00分（受付　午後１時から）

２．場所　**さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」**

３．日程
⑴　開会のことば
⑵　埼玉県獣医師会員憲章の唱和
⑶　物故会員に対し黙祷
⑷　会長あいさつ
⑸　議長等選出
⑹　議事録署名人および書記の指名
⑺　議事
報告事項
平成26年度事業計画および収支予算に関する件
決議事項
第１号議案　平成25年度事業報告の承認に関する件
第２号議案　平成25年度決算の承認に関する件
第３号議案　平成26年度会費（負担金）及び入会金（案）に関する件
第４号議案　平成26年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定に関する件
第５号議案　平成26年度役員報酬に関する件
付帯決議
⑻　祝寿表彰および記念品贈呈・功労会員証の贈呈
感謝状の贈呈
野生生物保護功労者表彰状の伝達
⑼　新入会員の紹介
⑽　来賓祝辞
⑾　来賓紹介
⑿　祝電披露
⒀　閉会のことば

註：総会終了後、来賓を交えて懇親会を開催致しますので多数ご参加願います。（参加費　会員 5,000円）

埼玉県獣医師政治連盟総会開催

前記の埼玉県獣医師会第66回定時総会開催に先だち、平成26年６月11日（水）午後１時20分から、埼玉県獣医師会総会会場（さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」）において開催しますので関係会員多数のご出席をお願いいたします。

１．日時
平成26年６月11日（水）
午後１時20分（受付　午後１時から）

２．場所
さいたま市「大宮ラフォーレ清水園」

３．日程
⑴　開会
⑵　理事長挨拶
⑶　来賓祝辞
⑷　議長選出
⑸　議事
第１号議案　平成25年事業報告および収支決算の承認に関する件
第２号議案　平成26年事業計画および会費徴収（案）に関する件
⑹　閉会

事務連絡
平成26年４月10日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 矢ケ崎忠夫

愛知県における犬のエキノコックス症感染事例について（情報提供）

このことについて、平成26年４月８日付け事務連絡をもって、厚生労働省健康局結核感染症課から、別添のとおり通知がありました。下記参考資料も参考にしていただき、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、愛知県で捕獲された犬において、犬のエキノコックス症の感染が認められたとの報告があったので、本事例について、本会会員への周知とともに、「犬のエキノコックス症対策ガイドライン2004－人のエキノコックス症予防のために－」の活用等について、周知を依頼されたものです。

記

１「エキノコックス症の犬」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/02-06.pdf

２「犬のエキノコックス症対策ガイドライン2004
―人のエキノコックス症予防のために―」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/pdf/05-03.pdf

※別添　略

事務連絡
平成26年４月28日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 矢ケ崎忠夫

改正薬事法の施行に伴う動物用医薬品の
インターネット販売に関する周知依頼

このことについて、平成26年４月21日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課薬事監視指導班長から別添のとおり通知がありました。貴

会関係者に周知方よろしくお願いいたします。
　このたびの通知は、本年６月12日に医薬品の販売業に係る改正薬事法が施行されることに伴い、インターネット販売の許可取得が容易になる、指示書なしで要指示医薬品が購入できるようになる等、インターネット販売の基本的枠組みが大きく変わるとの誤解が生じていることを懸念し、同省で作成された改正薬事法施行後の動物用医薬品のインターネット販売の基本的枠組みに関するリーフレットについて、周知を依頼されたものです。

事務連絡
平成26年４月21日

公益社団法人　日本獣医師会
　　専務理事　殿

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課
薬事監視指導班長

改正薬事法の施行に伴う動物用医薬品の
インターネット販売に関する周知依頼

　平素は動物薬事行政に関して、多大なる御理解･御協力を賜り感謝申し上げます。
　さて､本年６月12日に医薬品の販売業に係る改正薬事法が施行されることに伴い、インターネット販売の許可取得が容易になる、指示書なしで要指示医薬品が購入できるようになる等、動物用医薬品のインターネット販売の基本的枠組みが大きく変わるとの誤解が生じていることを懸念しております。
　このため、改正薬事法施行後の動物用医薬品のインターネット販売の基本的枠組みに関する別添のリーフレットを作成しましたので、貴会におかれましては、貴会会員に対し、別添リーフレットの周知に御協力をお願いいたします。

平成26年4月18日

獣医師のみなさまへ

本年6月12日、医薬品の販売業に係る改正薬事法が施行されます。

1. 動物用医薬品のネット販売の基本的枠組みは変わりません。

- 動物用医薬品は、<u>これまでもネット販売が可能ですが、実店舗での販売と同じ店舗販売業の許可が必要</u>です。
- 店舗情報の掲示義務やオークションによる販売の禁止等、ネット販売に関するこれまでの指導を省令・通知で明確に示し、適正販売の徹底を進めます。

2. 要指示医薬品のネット販売の基本的枠組みは変わりません。

- 要指示医薬品は、獣医師が自ら診察し、その指示を受けた者が購入できる医薬品です。要指示医薬品についても、<u>これまでも対面販売の義務はありませんが、不特定多数の者への販売広告や獣医師の指示書を確認できない販売方法は行わないよう指導</u>してきました。
- 販売前の指示書の確認や具体的な広告方法等、これまでの指導を省令・通知で明確に示し、適正販売の徹底を進めます。

現在、関係省令等の詳細な改正内容を検討しており、5月中には公布予定です。

農林水産省　消費・安全局
畜水産安全管理課

学　術

平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会(山梨)、獣医学術関東・東京合同地区学会開催案内

この大会･学会への参加は、今年度から原則として事前に申込みいただくこととなりました。申込方法は事務局に８月上旬までとなりますが、詳細は、後日、会報にてご連絡いたします。

参加費及び交流会費は、本会が負担しますので皆様の参加をお待ちしております。

担当　山梨県獣医師会

区　分	関東・東京合同地区獣医師大会	日本産業動物獣医学会	日本小動物獣医学会	日本獣医公衆衛生学会
日　時	**平成26年９月７日 13：00～14：00**	**平成26年９月７日午前の部　10：00～12：00 午後の部　14：15～16：15**		
大会･地区学会長 分野別地区学会長	関東地区獣医師会連合会 会長　佐藤忠敬	東京農工大学 白井淳資	日本大学 亘　敏広	東海大学 山本茂貴
会　場	**アピオ　中巨摩郡昭和町西条3600　TEL：055-220-6111**			
	１階　寿の間	３階　富士の間	２階　栄の間、扇の間	３階　孔雀の間
次　第	**〔大　会〕** 1　開会の辞 2　連合会長挨拶 3　獣医師会功績者表彰 4　受賞者代表謝辞 5　来賓祝辞 6　議長選出 7　議　事 (1)　平成25年度経過報告 (2)　議　案 (3)　大会宣言 8　閉会の辞 **〔市民公開講座〕** 「(仮題)人と動物の共通感染症の最新情報」 14：15～15：30 １階　寿の間 **〔交　流　会〕** 17：15～19：15 １階　寿の間	**〔学　会〕** １．開会の辞 ２．地区学会長挨拶 ３．学会・発表 ４．審査委員会 ５．閉会の辞 ６．優秀論文発表者表彰 ※学会発表順序､演題は演者の都合により変わることがあります。 ※三学会は学術講演とともに、獣医師生涯研修事業のポイント取得対象プログラムとして､参加者にポイントが付与されます。	**〔講演申込み要領〕** １．提出先：公益社団法人山梨県獣医師会 ２．演題・抄録提出期限 平成26年6月27日(金) ３．提出方法：所属地方獣医師会を経由 ４．演題：１題８分／質問２分 ５．原稿執筆要領：別紙 ６．審査員：幹事・学識経験者の中から地区学会長に選任された者 ７．参加費：4,000円(昼食･抄録代) 交流会：6,000円 **※　埼玉県獣医師会会員の参加費及び交流会費については、全て本会にて負担します。(参加無料)**	

【タイムスケジュール】

9：00～	10：00～12：00	12：00～13：00	13：00～14：00	14：15～15：30	14：15～16：15	17：15～19：15
受　付	学　会	昼　食	大　会	市民公開講座	学　会	交流会
	動物用医薬品・機器等展示　２階　玉宝の間　10：00～16：00					

[交　通]

＊　JR中央線　　甲府駅より、タクシー約15分

＊　中央自動車道甲府昭和インターから、東京・大月方面に向かい、最初の信号を左折

平成26年度獣医学術関東・東京合同地区学会の発表演題の募集

平成26年度における当該地区学会の発表演題について、次の「平成26年度獣医学術関東・東京合同地区学会発表演題募集要領」及び「発表用ファイルの作成方法および注意事項」により募集いたします。

平成26年度獣医学術関東・東京合同地区学会発表演題募集要領

1　演題の申込方法

(1)　発表演題の申込及び講演要旨の提出

ア　発表演題の申込

発表演題申込書に発表学会名、発表者の氏名、所属先の名称、演題名などの必要事項を記入し、埼玉県獣医師会に提出して下さい。

イ　講演要旨の提出

講演要旨の記述方法に従い作成の上、発表演題申込書と同様に埼玉県獣医師会にメールにて送付して下さい。

(2)　発表演題と講演要旨の提出先

〒330-0835　さいたま市大宮区北袋町1-340
公益社団法人埼玉県獣医師会　事務局
TEL：048-645-1906　FAX：048-648-1865
E-mail：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

なお、埼玉県獣医師会に提出いただいた発表演題申込書と講演要旨は、本会で取りまとめの上、次の平成26年度関東・東京合同地区学会事務局(山梨県獣医師会)に送付いたします。

〒400-0858　山梨県甲府市相生２丁目15-12
公益社団法人山梨県獣医師会 内
平成26年度関東・東京合同地区学会事務局
TEL：055-226-3505　FAX：055-226-3942
E-mail：juisikai@tempo.ocn.ne.jp

(3)　申込みと講演要旨提出の締切

講演要旨集の作成上、演題の申込みと講演要旨の提出締切は下記の通りといたします。

【締切】平成26年6月27日(金)　**期限厳守**

2　発表について

(1)　発表演題は、未発表であること。

(2)　非会員発表者については、参加登録料等を別に定め参加の意向に配慮します。

(3)　発表は、口演と液晶プロジェクター(１台)により行います。
(時間の都合により紙上発表とすることがあります。)

(4)　発表時間は、発表８分、討論２分の10 分です。時間を厳守して下さい。

(5)　発表には、原則として学会で用意するパソコンを使用して下さい。

(6)　発表用ファイルは、パワーポイントファイル(Microsoft Powerpoint 2003～2010)により作成し、CD-R に保存したものを、下記の締切日までに指定の宛先に送付して下さい。

※発表用ファイルの作成および発表上の注意事項、CD-R 送付方法及び宛先等については、**発表用ファイルの作成方法および注意事項**をご参照下さい。

⑺　発表用ファイル提出の締切
　【締切】平成26年８月22日（金）　必着のこと

3　発表要旨の記述方法

⑴　Windows 版 Microsoft Word を用い、別添の記入例を参考に作成して下さい。
　用紙はＡ４版を使用して１頁とします（上下左右30mm 程度余白をとる）。

⑵　演題（14ポイント、ゴシック体、左寄せ）は一行目、一行空けて発表者の氏名（12ポイント、明朝体、太字、右寄せ）、その下に所属（10.5ポイント、明朝体）を記入して下さい。
　共同研究者があるときは、発表者には○印を付し、共同研究者全員の氏名の右上方に所属を示すために下記の例のように番号をつけて下さい。
　例：○山梨太郎[1)]　　日本次郎[2)]　　関東三郎[3)]

⑶　発表者所属（勤務先名等）は、共同研究者右肩に付した番号を書き、例１のように記入して所属を入れて下さい。勤務先名は例２のように省略して下さい。
　例１　発表者所属　１）東部家保　２）AB 動物病院　３）東大
　例２　北海道大学→北大、日本大学→日大、日本獣医生命科学大学→日獣大
　　独立行政法人農業技術研究機構動物衛生研究所→動衛研、
　　衛生研究所→衛研、農水省動物検疫所→動検、
　　○○市生活衛生部食品衛生課→○○市食品衛生課、
　　○○県環境農政部畜産課→○○県畜産課、
　　○○食肉衛生検査所→○○食肉衛検

⑷　本文の記述は、10ポイント、明朝体を使用し、1,000字以内にまとめて下さい。書き始めは、発表者所属から１行（14ポイント）空けて下さい。
　記述の見出しは、Ⅰ．はじめに、Ⅱ．材料及び方法、Ⅲ．成績、Ⅳ．考察の順で記載して下さい。ただし、必ずしもこの見出しに限るものではありません。

⑸　見出しの記号は、次の様式による。
　Ⅰ＿＿＿＿１＿＿＿＿⑴＿＿＿＿ア＿＿＿＿㈠＿＿＿＿
　Ⅱ＿＿＿＿１＿＿＿＿⑴＿＿＿＿ア＿＿＿＿㈠＿＿＿＿

⑹　発表要旨の記載は、和文、口語体「である」調として、数字は算用数字を用い、度量換算はメートル、単位は、km、㎝、kgなどの記号を用いて下さい。人名、地名、学名などを英字で記載する場合は、大文字、小文字、キャピタル、イタリック、ロマンなどの字体として下さい。
　環境依存文字は使わないで下さい。

⑺　記載上の用語は、次のように統一します。
　我国→わが国、著者・筆者→演者、♂・♀→雄・雌、充分→十分、
　胎児→胎子、洗滌→洗浄、３ヶ月→３カ月、仔牛→子牛、行なった→行った、３才→３歳。

⑻　平仮名にするものは、いっぽう、したがって、および、～のような、～することができる。
　漢字にするものは、その他、次に、及ぶ、従う。

⑼　図表等は、適宜本文中に挿入し、図１、表１のように表記して下さい。

発表用ファイルの作成方法および注意事項

１．学会で用意するパソコンを使用して下さい

⑴　発表用スライドは、Microsoft Windows 上で作動する「Microsoft PowerPoint2003～2010」で作成し、記録媒体には必ず CD-R を使用し、すべての CD ドライブで読み出しが出来るように処理して下さい。なお、スライドサイズ指定は「35mm スライド」に設定して下さい。

また下記仕様についてＡ４用紙に記入の上、同封して下さい。

・使用 OS　(例 ; Microsoft Windows 7)

・使用ソフト(ファイル形式・拡張子 例；Microsoft PowerPoint(2003～2010 .ppt または .pptx)

・動画の有無／動画再生のためのアプリケーションソフト

・音声出力の有無

・データ容量

(2)　ファイルを保存した CD-R には、学会名・演題名・所属名・発表者氏名・ファイル名・連絡先を明記して、宅配便・ゆうパック等にて期限までに下記宛送付して下さい。(送料は自己負担にてお願いします。)送付された CD-R は発表終了後に返却いたします。

(3)　**提出頂いたデータは原則変更できません。ただし、データの誤り等でやむを得ず差替えの必要が生じた場合は 8 月22日(金)までにお知らせ下さい。**

それ以後の変更は出来ませんのでご注意下さい。

【CD-R の送付先】

株式会社タスプ　担当者: 箭内民生
〒174-0051　東京都板橋区小豆沢2-9-19
TEL：03-5970-3990　FAX：03-5970-3997
E-mail info @ tasp.co.jp

２．その他

(1)　後日、CD-R 送付の有無、操作進行等についてお問い合わせする場合があります。

(2)　ワイド画面で作成された場合は画面が切れる場合があります。注意して下さい。

(3)　**動作確認受付　９月７日(日) 9 ：00～13：00**

学会当日、発表の60 分前までには動作確認を行って下さい。

なお、混み合う事が予想されますので、なるべくお早目にお済ませ下さい。

記入例　【例示：講演要旨(1,000字)作成様式】

○○○○○○○○　　･･･**演題名＜14 ポイント、ゴシック体、左寄せ＞**

空白一行＜14ポイント＞

･･･ 発表者＜12ポイント、明朝体、太字＞　　日獣太郎[1)]、日獣花子[1)2)]

･･･ 所属＜10.5ポイント、明朝体、右寄せ＞　　１)○○動物病院・東京都、２)△△大

空白一行＜ 14 ポイント＞

○○○○○○○○

会務報告

第５回　理事会

平成26年３月26日(水)午後１時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を審議した。

１　会長挨拶

本日は、年度末の理事会であり、新年度に向けての重要な事項を審議いただくこととなる。慎重な協議をお願いしたい。

２　報告事項

⑴　前理事会後に開催された委員会等に関する件

各委員長から委員会等の概要について次のとおり報告された。

ア　公益社団法人移行記念新春懇談会

来賓を含め260名が参加し、記念講演と交流会を開催した。(２月６日)また、開催準備のため事前に打合せ会議を開催した。(１月22日)

イ　ボウリング大会

ボウリング同好会の協力により54名が参加して開催した。(２月11日)

ウ　狂犬病集合注射関係資材売買契約会

必要資材等の売買契約について協議した。(２月26日)

エ　第４回狂犬病予防委員会並びに第２回班長会議

平成26年度集合狂犬病予防注射に係る注射実施者及び資材配布計画等について協議した。(３月14日)

オ　第４回総務委員会

平成25年度決算見込み並びに平成26年度予算案などについて協議した。(３月19日)

⑵　業務執行理事職務執行状況に関する件

業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。

３　決議事項

第１号議案　平成26年度集合狂犬病予防注射実施者の承認に関する件

平成26年度集合狂犬病予防注射実施者として申出のあった333名の全員が承認された。

第２号議案　集合狂犬病予防注射実施班長の変更に関する件

西支部所沢班の班長の変更について承認された。

第３号議案　平成25年度新入会員の承認に関する件

入会申込みのあった２名(団体支部)の入会を承認した。

第４号議案　平成26年度会費・開業会費免除者の承認に関する件

支部長から申請のあった２名について、開業会費の免除が承認された。

４　協議事項

⑴　平成25年度事業収支決算見込みに関する件

現時点における収支決算の見込みについて報告し承認された。

⑵　平成26年度事業計画及び収支予算等に関する件

平成26年度予算における事業計画や事業内容などについて協議した。

⑶　その他

次の事項について報告された。

ア　日本獣医師会主催「医師会との連携推進特別委員会」について

イ　「公務員獣医師の処遇改善等」に係る要請について

ウ　集合狂犬病予防注射実施に係る市町村との契約締結状況について

第６回　理事会

平成26年３月26日(水)午後３時から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を審議した。

決議事項

議案　平成26年度事業計画及び収支予算に関する件

平成26年度の事業計画及び収支予算について、事業計画、収支予算書、同内訳表などを基に審議し、原案のとおり可決決定された。

予　告

南第一支部・南第二支部合同学術講習会のお知らせ

（獣医師生涯研修事業ポイント対象　カリキュラム番号　小２（１））

南第一支部長　田中　　裕
南第二支部長　長澤　泰保

南第一支部・南第二支部では６月22日(日)に米国獣医病理学専門医であり、どうぶつの総合病院病理科の近藤広孝先生をお招きして学術講習会を開催致します。小動物診療で必要不可欠となっている病理検査ですが、その反面意識的に勉強する機会の少ない学問かと思われます。そこで今回分かり易く、より身近に病理検査を感じられるよう講演を依頼させて頂きました。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

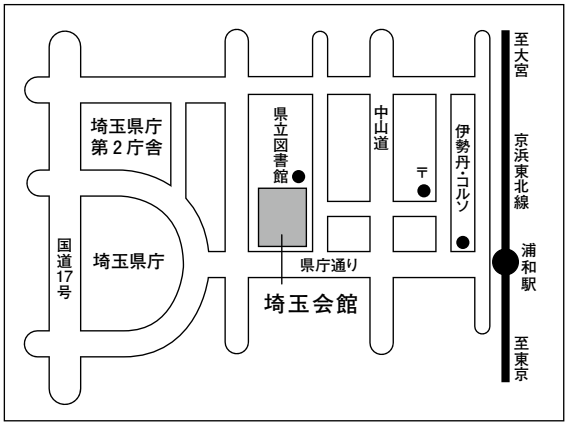
日　　時　**平成26年６月22日(日)**
14：00～17：00

場　　所　**埼玉会館　7B　会議室(くすのき)**
さいたま市浦和区高砂3-1-4
TEL：048-829-2471

演　　題　「獣医病理学をもっと身近に感じるために
～専門医の立場から～」

講　　師　どうぶつの総合病院病理科　近藤広孝　先生

参 会 費　埼玉県獣医師会会員　無料
会員以外の受講者　5,000円



新入会員報告

新　入　会　員

上原（うえはら）　大地（だいち）

川越市在住
団体支部

勤務部会

支　部　名	氏　　名	勤　務　先
団　体	上　原　　大　地	川越市・霞ヶ関動物外科クリニック

広告

松研の動物用生物学的製剤

こわい狂犬病から
ぼくをまもってね

■ 松研狂犬病 TC ワクチン　動物用医薬品　要指示医薬品

豚用ワクチン
■ 松研豚丹毒生ワクチン
■ ポーシリス　APP-N
■ ポーシリス　ERY
■ ポーシリス　STREPSUIS
■ ポーシリス　Begonia DF・10
■ ポーシリス　Begonia DF・50

水産用ワクチン
■ Mバック　レンサ 注
■ Mバック　イニエ
■ 松研Mバック　IPレンサ

※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元　一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元　松研薬品工業株式会社

〒184-0003　東京都小金井市緑町５丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075　FAX: (042) 381-0344
URL: http://www32.ocn.ne.jp/~matsuken
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp

ひ　ろ　ば

新入会員の抱負
埼玉県獣医師会に入会して

東支部　加藤　雄大
（ゆう動物クリニック）

旅先にて

一昨年より埼玉県獣医師会に入会させていただきました三郷市在住の加藤雄大（かとうよしお）と申します。茨城県ひたちなか市で生まれ育ち、平成19年に日本獣医生命科学大学を卒業後、埼玉県での代診を経て、平成24年に三郷市で開業させていただきました。

学生時代は友人たちとバイクでツーリングによく出かけていました。現在も、日常と離れた旅先での出会いや、その土地の自然や食事を楽しみたく、家族旅行を毎年しています。

早いもので開業して３年目に入りましたが、当初より東支部や吉川分会の先生方には特に大変良くしていただき、とても感謝いたしております。私のような新入会員にも気さくに話しかけていただき、地域社会における獣医師としてのあり方や、学術講習会等を通して最新の知識を学ばせていただいております。

今後は、小動物の診療をする傍ら、埼玉県獣医師会の会員として、少しでも地域社会に貢献出来るよう努力していきたいと考えています。まだまだ不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

西支部学術講習会開催報告

西支部学術委員　　矢萩　智男

３月23日（日）川越市南文化会館（ジョイフル）において、学術講習会を開催いたしました。

今回は、東京大学　松木直章先生をお招きして「糖尿病疾患の診断と治療のアップデート」と題してご講演をいただきました。

現代人に非常に増えている糖尿病。飼い主様が持つ人の糖尿病の知識と、犬と猫の糖尿病その仕組みの違いから診断治療に至るまで深くご教授いただきました。

松木先生の人気はとても高く、当日は用意した会場に入りきらないほどたくさんの先生方に参加いただきました。特に、多くの獣医師会員外の先生に参加いただいたことは、公益法人としての役割からも、大変意義のあるものであったと感じております。

年度末、卒業シーズンでお忙しい中、貴重なご講演をいただきました松木先生に、深くお礼を申し上げると共に、参加下さったたくさんの先生方にも、合わせて感謝いたします。

松木先生には来年度もシリーズとして、甲状腺および副腎をテーマに２回の講演を予定しております。今回同様たくさんの先生方のご参加をお待ちします。

＜参加者内訳＞

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
65名	5名	4名	1名	30名	1名	5名	11名	8名

県幹部職員の就任挨拶について

本年４月１日付けの人事異動で新たに就任された埼玉県庁の幹部職員の皆様がそれぞれ来会され、髙橋三男会長と懇談しました。

髙橋会長は、埼玉県獣医師会の活動状況について説明し、獣医師会の運営について県行政当局に理解を求めるとともに、引き続き、本会活動に対する支援を要請しました。

来会者御芳名

農林部

畜産安全課長　　中島一郎 様（前職 川越家畜保健衛生所長）

保健医療部

部長　　石川　稔 様（前職 保健医療部副部長）

副部長　　児嶋辰男 様（前職 南西部地域振興センター所長）

生活衛生課長　　黒﨑嘉子 様

環境部

部長　　半田順春 様（前職 環境部副部長）

みどり自然課長　　野口典孝 様（前職 全国育樹祭課長）

みどり自然課副課長　荒木恭志 様（前職 森づくり課主幹）

みどり自然課主幹　　野澤裕子 様

中島一郎畜産安全課長
（農林支部）

左から　黒﨑嘉子生活衛生課長（衛生支部）、髙橋三男会長、石川稔保健医療部長、児嶋辰男同部副部長

左から　野澤裕子みどり自然課主幹（農林支部）、野口典孝みどり自然課長、髙橋三男会長、半田順春環境部長、荒木恭志みどり自然課副課長

お知らせ

衛生支部会員の異動状況（退職者を含む）

【埼玉県】

本課・保健所・衛生研究所・動物指導センター

課所名（所属）	職名	氏名	旧所属及び職名
食品安全課	主　　幹 主　　幹	坂梨　栄二 吉永　光宏	鴻巣保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長 食品安全課 監視・食中毒担当　主幹
川口保健所	担当課長	徳永志帆子	川口保健所 食品監視担当　主任
朝霞保健所	担当部長 担当課長	倉島　美穂 牧野　美紀	狭山保健所 生活衛生・薬事担当　担当課長 春日部保健所 生活衛生・薬事担当　担当課長
春日部保健所	副 所 長 担当部長 担当課長 主　　任	中村　眞幸 猪野富美子 茂木　修一 望月　陽平	食肉衛生検査センター　副所長 加須保健所 生活衛生・薬事担当　担当課長 生活衛生課 総務・動物指導担当　主査 坂戸保健所 生活衛生・薬事担当　技師
鴻巣保健所	担当部長	山我　伸代	朝霞保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長
狭山保健所	担当部長 担当課長	前野　直弘 笹本　　史	動物指導センター　担当課長 熊谷保健所 生活衛生・薬事担当　担当課長
加須保健所	主　　任	松崎　文秀	食肉衛生検査センター 北部支所 食肉検査担当　技師
熊谷保健所	副 所 長 担当部長 担当課長 専 門 員	山我　英夫 小林精一郎 川﨑　貴子 藤井　恵一	動物指導センター 南支所　支所長 春日部保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長 坂戸保健所 生活衛生・薬事担当　担当課長
本庄保健所	担当部長 主　　任	小林　一義 持田　妙子	熊谷保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長 秩父保健所 生活衛生・薬事担当　主任
秩父保健所	主　　任	森　　芳紀	動物指導センター 指導課　技師
衛生研究所	主　　任 主　　任	塚本　展子 江原　勇登	食肉衛生検査センター 食肉検査担当白子分室　主任 狭山保健所 生活衛生・薬事担当　主任
動物指導センター	所　　長 支 所 長 主　　任 嘱託(非常勤)	三田　和正 笠木みどり 杉山　　郁 長谷川　隆	食品安全課　副課長 狭山保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長 本庄保健所 生活衛生・薬事担当　技師 川越市保健所 食品・環境衛生課　課長

食肉衛生検査センター

課所名（所属）	職名	氏名	旧所属及び職名
食肉衛生検査センター	所　　長	久保　忠直	動物指導センター　所長
	副 所 長	篠宮　哲彦	さいたま市保健所食品衛生課　課長
（精密検査担当）	担当課長	土井　りえ	食肉衛生検査センター 精密検査担当　主任
（食鳥検査担当）	担当課長	佐近　早苗	食肉衛生検査センター 食鳥検査担当　主任
	主　　任	横田　裕美	食肉衛生検査センター 精密検査担当　主任
	技　　師	石原　拡樹	食肉衛生検査センター 越谷分室　技師
	専 門 員	武井　宏一	食肉衛生検査センター 食鳥検査担当　担当課長
（食肉検査担当･川口分室）	担当課長	天野　光彦	狭山保健所 食品監視担当　担当課長
	技　　師	田中　美帆	草加保健所 生活衛生・薬事担当　技師
（食肉検査担当･白子分室）	専 門 員	服部　静司	食肉衛生検査センター 川口分室　担当部長
（食肉検査担当･越谷分室）	担当部長	木下　正保	食品安全課 特別監視担当　主幹
	専 門 員	伊藤　　学	食肉衛生検査センター 越谷分室　担当部長
北部支所			
（食肉検査担当）	専 門 員	小暮　孝之	本庄保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長

＜退職＞

橋本　勝弘（食肉衛生検査センター　所長）
増谷　壽彦（衛生研究所 食品媒介感染症担当　専門研究員
武井　宏一（食肉衛生検査センター 食鳥検査担当　担当課長）　→　再任用（食肉衛生検査センター）
服部　静司（食肉衛生検査センター 川口分室　担当部長）　→　再任用（食肉衛生検査センター）
伊藤　　学（食肉衛生検査センター 越谷分室　担当部長）　→　再任用（食肉衛生検査センター）
小暮　孝之（本庄保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長）　→　再任用（食肉衛生検査センター）

【さいたま市（保健福祉局）】

課所名（所属）	職名	氏名	旧所属及び職名
食品衛生課	課　　長	長谷部　俊	埼玉県鴻巣保健所 生活衛生・薬事担当　担当部長
食肉衛生検査所　食肉検査係	所長補佐 兼 係 長	中嶋　　洋	食肉衛生検査所 食肉検査係　係長
健康科学研究センター			
（食品化学課）	係　　長	近藤　貴英	食品化学課　主査
（生活科学課）	主　　査	土屋　彰彦	保健所 食品衛生課　主任

＜退職＞

伊藤　真理（さいたま市保健所　係長）

【川越市】

課所名（所属）	職名	氏名	旧所属及び職名
保健所	主　　幹	武田　泰幸	保健所 食品・環境衛生課　主査

＜退職＞

長谷川　隆（川越市保健所 食品・環境衛生課　課長）　→ 埼玉県動物指導センター（嘱託）

農林支部会員の異動状況（退職者を含む）

課所名（所属）	職名	氏名	旧所属及び職名
畜産安全課	課　　長	中島　一郎	川越家畜保健衛生所　所長
	副 課 長	丸山　盛司	畜産安全課　主幹
（畜産振興担当）	主　　幹	堀井菜摘子	川越家畜保健衛生所　担当部長
	主　　査	清水　博之	畜産安全課　主任
	主　　任	土門　尚貴	中央家畜保健衛生所　主任
	主　　任	田代　卓也	熊谷家畜保健衛生所　主任
中央家畜保健衛生所	副 所 長	小川　　実	県営競技事務所付浦和競馬組合　野田管理事務所長
（家畜防疫担当）	担当課長	渡辺　志保	川越家畜保健衛生所　担当課長
	担当課長	吉田　輝美	中央家畜保健衛生所　主任
（病性鑑定担当）	技　　師	中井　悠華	中央家畜保健衛生所　技師
（畜産支援･安全対策担当）	担当部長	山田　　均	熊谷家畜保健衛生所　担当部長
	担当課長	青山　達也	中央家畜保健衛生所　主任
	主　　任	平田　圭子	川越家畜保健衛生所　主任
川越家畜保健衛生所	所　　長	須賀　幸司	県営競技事務所付浦和競馬組合　業務課長
（家畜防疫担当）	担当部長	木下　明子	中央家畜保健衛生所　担当部長
	専 門 員	金子　保之	熊谷家畜保健衛生所　所長
（畜産支援･安全対策担当）	担当部長	落合　　晋	川越農林振興センター　担当部長
熊谷家畜保健衛生所	所　　長	岩田　信之	畜産安全課　副課長
	副 所 長	斉藤　良幸	熊谷家畜保健衛生所　担当部長
（家畜防疫担当）	担当部長	窪田　美佳	畜産安全課　主査
	担当課長	平田　文吾	中央家畜保健衛生所　担当課長
	主　　任	宮田　　基	畜産安全課　主任
	専 門 員	鈴木　　智	秩父高原牧場　担当部長
（畜産支援･安全対策担当）	担当課長	山岸　聡美	食肉衛生検査センター　主任
	担当課長	河津　理子	畜産安全課　主任
農林総合研究センター			
（企画担当）	専門研究員	吉田　　香	熊谷家畜保健衛生所　主任
畜産研究所	所　　長	吉野　賢一	中央家畜保健衛生所　副所長
秩父高原牧場			
（育成･ふれあい担当）	担当部長	高田新一郎	秩父高原牧場　担当課長
	担当課長	福田　昌治	熊谷家畜保健衛生所　担当課長
	担当課長	原嶋　敦司	春日部保健所　担当課長
川越農林振興センター			
（地域支援担当）	担当部長	田中　美貴	熊谷家畜保健衛生所　担当課長
埼玉県浦和競馬組合			
（業務課）	課　　長	島野　知二	熊谷家畜保健衛生所　副所長
（野田管理事務所）	所　　長	宇田川浩一	秩父高原牧場　担当部長

＜退職＞

北野　俊明（東松山農林振興センター　所長）
梅澤　正親（畜産安全課　課長）
金子　保之（熊谷家畜保健衛生所　所長）　→　再任用（川越家畜保健衛生所）
鴻巣　　泰（農林総合研究センター畜産研究所　所長）
鈴木　　智（秩父高原牧場　担当部長）　→　再任用（熊谷家畜保健衛生所）

春季合同学会参加登録費の助成等について

第88回獣医麻酔外科学会・第100回日本獣医循環器学会・
第55回日本獣医画像診断学会

標記合同学会がさいたま市内において開催されるに当たり、本会では会員の獣医学術の研鑽向上のため、参加登録費の軽減並びに参加登録費の一部助成措置を講じることとなりました。

つきましては、下記にご留意の上、参加登録等事務手続きをお願いします。

1　合同学会の内容　（詳細は、本会報に同封のパンフレットをご覧下さい。）

（1）開催月日　平成26年６月14日（土）～６月15日（日）

（2）会　　場　さいたま市　大宮ソニックシティ

（3）大 会 長　第88回獣医麻酔外科学会　　西村亮平（東京大学）
　　第100回日本獣医循環器学会　桑原正貴（東京大学）
　　第55回日本獣医画像診断学会　望月　学（東京大学）

（4）後　　援　　公益社団法人　埼玉県獣医師会

2　助成措置等の内容

（1）参加登録費の軽減　（全ての会員が適用となります。）

埼玉県獣医師会会員については、次のとおり軽減されます。（抄録代を含む。）

◎　**事前登録　学会非会員　14,000円→10,000円**（学会の会員と同額となります。）

◎　**当日登録　学会非会員　16,000円→12,000円**（　　同　　上　　）

※　同封の振込用紙にて「事前登録費」の振込みを行う場合には、必ず、「後援獣医師会」欄に「○」を付けて下さい。

振込先　　ゆうちょ銀行　口座番号　00130-3-639016
　　口 座 名　2014年春季合同学会

事前登録振込期限　平成26年５月31日（土）まで

（2）参加登録費の助成（開業支部会員のみ適用となります。）

埼玉県獣医師会開業支部会員については、参加登録費の軽減とともに、参加登録費の一部も助成されます。

◎　**助成金額　一人当たり、5,000円**（当日、学会の受付終了後、埼玉県獣医師会コーナーまでおいで下さい）

埼玉県獣医師会提携ローンについて

本会では、会員の福利・厚生並びに獣医療推進の一環として、「埼玉りそな銀行」及び「武蔵野銀行」と金利等、融資条件の優遇措置を内容とした「提携ローン」を用意しておりますが、年度の当初に当たり、下記のとおり提携先の両行からご案内通知がありましたのでお知らせします。

なお、融資条件等の詳細について、またご利用に当たっては、獣医師会長の「紹介状」が必要ですので、ご検討等される場合には、獣医師会事務局までご相談下さい。

① 株式会社埼玉りそな銀行

平成26年４月１日

公益社団法人　埼玉県獣医師会 御中

株式会社　埼玉りそな銀行

お　知　ら　せ

拝　啓

貴会ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は弊社に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では、貴会との提携によります「住宅ローン」につきまして、期間限定にて下記条件でのお申込受付をさせて頂きます。

今後とも、貴会のお役に立てますよう努力を重ねて参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

敬　具

記

項　　目	内　　容
対象住宅ローン	・変動金利型住宅ローン ・固定金利選択型住宅ローン
金　利　内　容	変動金利型住宅ローン　　標準金利　△1.4% 固定金利選択型住宅ローン　　標準金利　△1.4% （ご利用全期間）
お 取 扱 期 間	本日～平成26年９月30日お申込受付分まで （「保証委託申込書」の「お申込日」が平成26年９月30日までのものとさせて頂きます。）

※その他条件は貴会との提携ローン契約に準じます

※各種プランによっては、上記金利以上の優遇をご利用頂ける場合がございます

以 上

②株式会社　武蔵野銀行

平成26年４月１日

公益社団法人　埼玉県獣医師会　御中

株式会社　武蔵野銀行
営業推進部　医療・福祉チーム

お知らせ

弊行では、貴会との提携によります会員の皆様向けに「むさしの獣医師会ローン」（運転資金・設備資金）の取り扱いをしております。つきましては、新規の資金調達を是非ともこの機会にご検討していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、商品の詳しい内容につきましては、各店窓口までお問い合わせ下さい。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以　上

切り抜きニュース

見えぬ敵　制圧に全力
苦い経験　初動に生かす
熊本で鳥インフルエンザ

熊本県多良木町の養鶏場で、国内では３年ぶりとなる鳥インフルエンザが発生した。今年に入り韓国で被害が続き、渡り鳥からの感染を警戒していたさなか。関係者の頭をよぎるのは、西日本を中心に被害を広げ、混乱に陥った３年前の苦い経験だ。政府は教訓を生かし、国を挙げてウイルスという「見えない敵」を制圧する封じ込め作戦を急ぐ。

■最速ペース

「１棟の鶏舎で、通常より死ぬ鶏の数が増えている」。12日午後３時半、多良木町の養鶏場から、県の城南家畜保健衛生所への第一報が入った。通常、この養鶏場で１日に死ぬ鶏は10～20羽。だが11日朝までの24時間に34羽、翌12日朝までは200羽以上に膨れ上がった。

農林水産省が通報を求めているのは「１日の平均死亡率の２倍以上」があった時だ。「農家はルールを知っており、だからこそ通報した。熊本県の対応も素早かった」と農水省の担当者は評価する。今回、県は13日から夜通しで11万羽超を殺処分しており「最速のペース」という。

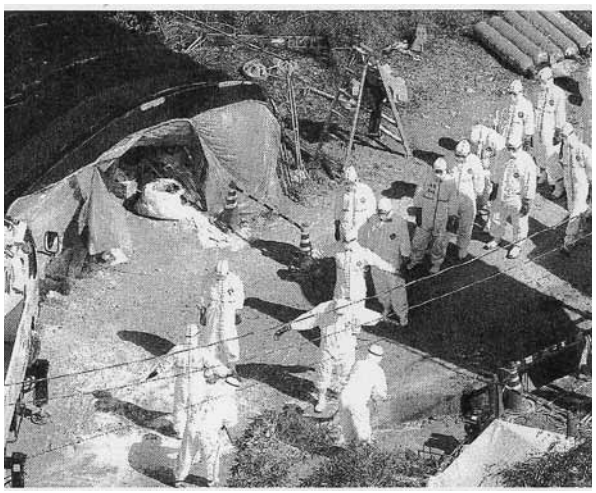
■不備

国内で前回発生したのは2010年11月～11年３月だった。農水省によると、被害は千葉から鹿児島までの９県に及び、24農場で約183万羽が殺処分された。

当時、養鶏場に設置していた野鳥の侵入防止ネットに大きな穴が見つかるなど、養鶏場の対策の不備が問題になった。日ごろの取り組みが重要だと痛感した農水省は対策を強化。ことし１月17日、韓国で発生すると「渡り鳥の飛来シーズンで、ウイルスが日本に持ち込まれる可能性は高い」と判断し、その日のうちに対策徹底を求める文書を都道府県に出した。

今回、発生した養鶏場でも防止ネットを張るなどの対策を講じていたが、防げなかった。農水省の担当者は「相手はウイルス。ネズミやハエが持ち込むこともあり、100パーセントはない」と話す。

農水省は今後、感染経路の特定と被害拡大防止に全力を挙げる方針だ。初動の対応が早かったため「ほかに広がっている可能性は少ないとみて大



鳥インフルエンザが発生した養鶏場で、消毒を受ける熊本県の職員ら＝14日午後３時７分、熊本県多良木町で共同通信社ヘリから

丈夫だろう」と楽観的だが、経路の特定には時間がかかり、被害が熊本県にとどまるとは限らない。感染が広がれば鶏肉や卵の供給に支障が出て、価格上昇の恐れもある。

■地球規模

「かつてないほど地球全体で汚染が広がっており、安心できない」。京都産業大鳥インフルエンザ研究センター長の大槻公一さん（獣医微生物学）は強調する。アジアでは03年の大発生以来、各地で感染が続き、発生頻度も上昇。欧州やアフリカにも感染が及ぶ。

大槻さんはウイルスのタイプに注目。アジアなどに広がるＨ５Ｎ１型ならこの時期、南から北へ帰る途中の渡り鳥が感染源となり得る。韓国で流行しているＨ５Ｎ８型なら、季節によらず韓国から飛来する野鳥の可能性がある。「南からの渡り鳥は日本全域に立ち寄り、韓国からの野鳥は西日本に飛来する可能性がある。各地で警戒が必要だ」と指摘する。

今回の養鶏場や熊本県の初動対応は「非常に良かった」とする一方で「感染したということは、どこかに穴があったはず。日頃の対策も本当に完全にできていたか、行政はきちんと検証し、指導し直す必要がある」と話している。

2014年４月15日　埼玉新聞

日豪首脳ＥＰＡ合意
牛肉関税引き下げへ

安倍晋三首相は７日、東京都内でオーストラリアのアボット首相と会談し、経済連携協定（EPA）の締結で大筋合意した。安倍首相は会談後、「貿易、投資を促進する極めて重要な枠組みだ。可能な限り早期の署名に向けて作業を迅速に進める」と述べた。

オーストラリア産牛肉の関税引き下げや日本車の輸入関税撤廃を盛り込んだ。日本は現在38.5％の牛肉関税を段階的に引き下げ、冷凍品は協定発効から18年目に19.5％、冷蔵は15年目に23.5％とする。輸入が一定量を超えた分は関税を38.5％に戻す。

政府は安価な牛肉が国内市場に流入する事態に備え、畜産者向けの対策の検討に乗り出す。

牛肉関税を引き下げる見返りに、オーストラリアは日本車の関税撤廃に応じる。オーストラリアは現在、日本車に5.0％の関税を課している。

牛肉関税が下がると、オーストラリア産は、日本市場で競合する米国産に対して価格面で有利になる。政府は、環太平洋連携協定（TPP）交渉で強硬に関税撤廃を主張する米国の譲歩を引き出す効果を狙っている。

2007年４月に始まったEPA交渉は、７年かけて大筋合意に達した。日本が農業大国と結ぶ初の協定となる。今夏で調整している安倍首相のオーストラリア訪問での署名を目指す。双方の国内手続きが順調に進んだ場合、早ければ15年中にも協定が発効する。

冷蔵牛肉は国産牛肉の一部と競合するため、関税の下げ幅を冷凍よりも小さくしたいとの日本の主張をオーストラリアが受け入れた。

オーストラリアは当初、牛肉関税を半分の19.25％にするよう求め、30％台を維持したい日本との攻防が続いていた。

アボット首相は、国家安全保障会議（NSC）関係閣僚会合に参加した。首脳会談でアジア太平洋地域の安全保障に関しても意見交換した。

2014年４月８日　埼玉新聞

平成26年度埼玉県獣医師会学術広報版

（平成26年４月20日現在）

年　月　日	産　業　動　物	小　　動　　物	公　衆　衛　生
６月14日(土) ～15日(日)	第88回獣医麻酔外科学会／第100回日本獣医循環器学会／第55回日本獣医画像診断学会 2014春季合同学会　（さいたま市　大宮ソニックシティ）		
６月22日(日)		南第一支部・南第二支部 「獣医病理学をもっと身近に感じるために ～専門医の立場から～」 どうぶつの総合病院病理科　近藤広孝　先生 （さいたま市　埼玉会館）	
８月24日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 岩永孝治　先生 （場所：未定）	
８月24日(日)		東支部 「演題：未定」 日本小動物医療センター総合診療科・ 消化器科　中島亘　先生 （久喜市　久喜総合文化会館）	
９月７日(日)	平成26年度　関東・東京合同地区獣医師大会（山梨）獣医学術関東・東京合同地区学会 （山梨県中巨摩郡昭和町　アピオ）		
９月21日(日)		東支部 「演題：未定」 どうぶつ眼科eye vet　小林一郎　先生 （越谷市　越谷サンシティ）	
（予定） 10月19日(日)		西支部 「内分泌を極める　副腎」 東京大学　松木直章　先生 （川越市　川越南文化会館）	
（予定） 10月26日(日)		北支部・八日会 「演題：未定」 枝村一弥　先生 （場所：未定）	
10月26日(日)		東支部 「演題：未定」 コーネル大学獣医外科学 アソシエイトプロフェッサー 林慶　先生 （越谷市　越谷サンシティ）	
10月	北支部・八日会 「演題：未定」 講師：未定 （場所：未定）		
（予定） 11月21日(金)		西支部 「内分泌を極める　甲状腺」 東京大学　松木直章　先生 （川越市　川越南文化会館）	
12月	農林支部 平成26年度 埼玉県家畜保健衛生業績発表会		
平成27年 ２月１日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 近藤　広孝　先生 （場所：未定）	
２月13日(金) ～15日(日)	平成26年度　日本獣医師会獣医学術学会年次大会（岡山） （岡山市　岡山コンベンションセンターほか）		
２月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
３月		西支部 「演題：未定」 講師：未定 （場所：未定）	

事務局より

事　務　局　メ　モ

ホームページ会員専用ページ　入室は　URL　http://www.saitama-vma.org/

ID：SVMA（半角・大文字）　パスワード：MITSUO（半角・大文字）

3月23日　西支部学術講習会(川越市　川越南文化会館)
3月24日　埼玉県オーエスキー病防疫協議会(さいたま市　埼玉会館)
3月26日　第5回理事会・第6回理事会(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
4月8日　埼玉県保健医療部長等就任挨拶(さいたま市　埼玉県獣医師会事務局)
4月17日　埼玉県環境部長等就任挨拶(さいたま市　埼玉県獣医師会事務局)
4月20日　平成26年度第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会(山梨県甲府市　ニュー芙蓉)
4月23日　さいたま商工会議所設立10周年記念式典(さいたま市　大宮ソニックシティ)
4月25日　第2回狂犬病予防体制整備特別委員会(東京都港区　日本獣医師会)
5月1日　埼玉県獣医師会監事監査(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
5月1日　第1回獣医事調査委員会(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
5月8日　第1回総務委員会(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
5月12日　埼玉新聞「味な出逢い」取材(熊谷市　ホテルヘリテイジ)
5月15日　第1回理事会(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
5月16日　埼玉県畜産会理事会(熊谷市　埼玉県農林総合研究センター)
5月25日　さいたま市支部総会(さいたま市　ブリランテ武蔵野)
5月25日　南第一支部総会(さいたま市　浦和ロイヤルパインズホテル)
5月25日　東支部総会(越谷市　越谷サンシティ)
5月28日　西支部総会(東松山市　紫雲閣)
5月28日　北支部総会(深谷市　埼玉グランドホテル深谷)
5月28日　日本獣医師会第1回理事会(東京都港区　日本獣医師会)
5月30日　南第二支部総会(北本市　中丸公民館)
6月6日　埼玉県畜産会第59回通常総会(熊谷市　埼玉県農林総合研究センター)
6月10日　埼玉県農業共済組合連合会第66回通常総会(さいたま市　埼玉県農業共済会館)
6月11日　埼玉県獣医師会第66回定時総会(さいたま市　大宮ラフォーレ清水園)
6月14日～15日　第88回獣医麻酔外科学会・第100回日本獣医循環器学会・第55回日本獣医画像診断学会　2014春季合同学会(さいたま市　大宮ソニックシティ)
6月22日　南第一支部・南第二支部合同学術講習会(さいたま市　埼玉会館)
6月26日　日本獣医師会第1回全国獣医師会会長会議(東京都港区　明治記念館)
6月27日　日本獣医師会第2回理事会(東京都港区　明治記念館)
6月27日　日本獣医師会第71回通常総会(東京都港区　明治記念館)
7月13日　平成26年度第2回関東・東京合同地区獣医師会理事会・幹事会(山梨県甲府市　ニュー芙蓉)
7月18日　日本獣医師会全国獣医師会事務・事業推進会議(兵庫県神戸市　神戸ポートピアホテル)
8月24日　さいたま市支部学術講習会(場所　未定)
8月24日　東支部学術講習会(久喜市　久喜総合文化会館)
9月7日　平成26年度関東・東京合同地区獣医師大会(山梨)(山梨県中巨摩郡昭和町　アピオ)
9月21日　東支部学術講習会(越谷市　越谷サンシティ)
10月3日　日本獣医師会第2回全国獣医師会会長会議(場所　未定)
10月4日　日本獣医師会主催2014動物感謝デー in JAPAN
10月13日(予定)第37回埼玉県獣医師会ソフトボール大会(吉見町　吉見総合運動公園)
10月19日(予定)西支部学術講習会(川越市　川越南文化会館)
10月26日(予定)北支部･八日会合同学術研修会(場所　未定)
10月26日　東支部学術講習会(越谷市　越谷サンシティ)
11月21日(予定)西支部学術講習会(川越市　川越南文化会館)
平成27年
2月1日　さいたま市支部学術講習会(場所　未定)
2月13日～15日　平成26年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山)(岡山県岡山市　岡山コンベンションセンターほか)

編集後記

今年は、桜の開花とともに新年度の幕開けとなりました。集合狂犬病予防注射に従事する会員の皆様にとって天候は、最大関心事となり、テレビやインターネットの天気図や気象予報に注目の毎日です。幸い今年は比較的天候に恵まれていますので、無事に事業が進みますようにと心ひそかに願っています。雨は屋外事業にとっては困りものですが、春、晩春の雨は、稲をはじめ様々な穀物の芽吹きを促す雨であり、穀雨とも呼ばれます。杜甫の詩に、『好雨　時節を知り、春に当たりて乃ち発生す』とあるそうです。蛇足ながら『よい雨が時節を心得て、春になると降りだし万物をはぐくむ』と読むそうです。遠く江南の地も日本列島も天気図で見ると前線で繋がっていることを見ると、古代における稲作の伝来や人々の渡来に思いが馳せます。大陸に隋帝国が成立すると、その影響は周辺におよび朝鮮半島では統一新羅が建国され、列島では推古天皇・聖徳太子の国家形成期を迎えました。国家形成とともに国境は閉ざされ、それまでのような人々の自由な流動は止まり、国家の枠の中での営みとなり、独自の文化を形成するようになりました。その結果、人種は同一であっても民族は異なることとなり、それぞれの同胞の利益を守るため、相争い千数百年後の今日では互いに理解することさえも困難な時を迎えました。

『夫れ天地は、万物の逆旅にして、光陰は、百代の過客なり。而して浮生は夢の若し、歓を為すこと幾何ぞ。古人　燭を乗りて夜遊ぶは、良に以有るなり。』は李白（701～762）の詩ですが、芭蕉や井原西鶴に影響し、我々日本人の人生観や自然観の底流をなすものといえましょう。本来互いに理解できる文化を共有しながらも、国家や民族の利益・壁によって率直な交流が阻害される悲劇を感じます。

春は新人を迎えるとともに、定年を迎えた人々を送る季節でもあります。本号に掲載の県職員の方々の異動の中に懐かしい人の名がありました。昭和60年当時のオーエスキー病県内初発生の時、農水省の淘汰方針と厚労省の病畜搬入を認めない方針のはざ間で現場は大変難渋していました。その際、現場の屠畜検査員であった先生の協力により難問を解決しました。その後、先生は農林部や衛研へと転勤され今年定年を迎えられました。名前をお見かけしたとき鮮やかに当時のことが甦りました。在任中のご指導やご助力に対し心より感謝申し上げたいと思います。また、著者が当時大学院生のころ、入学試験のお手伝いで試験監督補助をしていた時、偶然故郷埼玉の進学校、浦和高等学校の徽章を付けた初々しい高校生を見つけ思わず声をかけました。彼はその後入学し、同窓となり埼玉県に入庁しこの春定年を迎えたようでした。在学中や在職中ともに仕事を共有することもなく過ごしましたが、脳裏にある入学試験の日の彼の姿は今でも鮮明です。退職後の第二の人生にも幸多かれと祈念申し上げます。同様に、永年県に奉職され無事に定年を迎えられた多くの会員の先生方に敬意を表するとともに第二の人生の充実と完成を心より祈念申し上げます。今後も、獣医師会に在籍されそれまでの経験と学識を以て、ご指導いただければこれに勝る光栄はありません。何卒よろしくお願いいたします。

獣医師としての出発点は同じであっても、異なる職域で40年近く生活すると獣医師文化の違いは民族間くらいあるかもしれません。生命科学を基礎とする獣医学は、現実的課題としては、鳥インフルエンザやPEDといった社会的な事案に対し総力を挙げて対処して社会の期待に応じたいものです。獣医師会は世代や職域を超えた連携を構築し埼玉県民や社会に貢献したいものです。

（初雁）

日本獣医師会・獣医師会活動指針

ー 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。ー

1　地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。

2　一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。

3　他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。

4　我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領ー獣医師の誓い ー95年宣言ー」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。

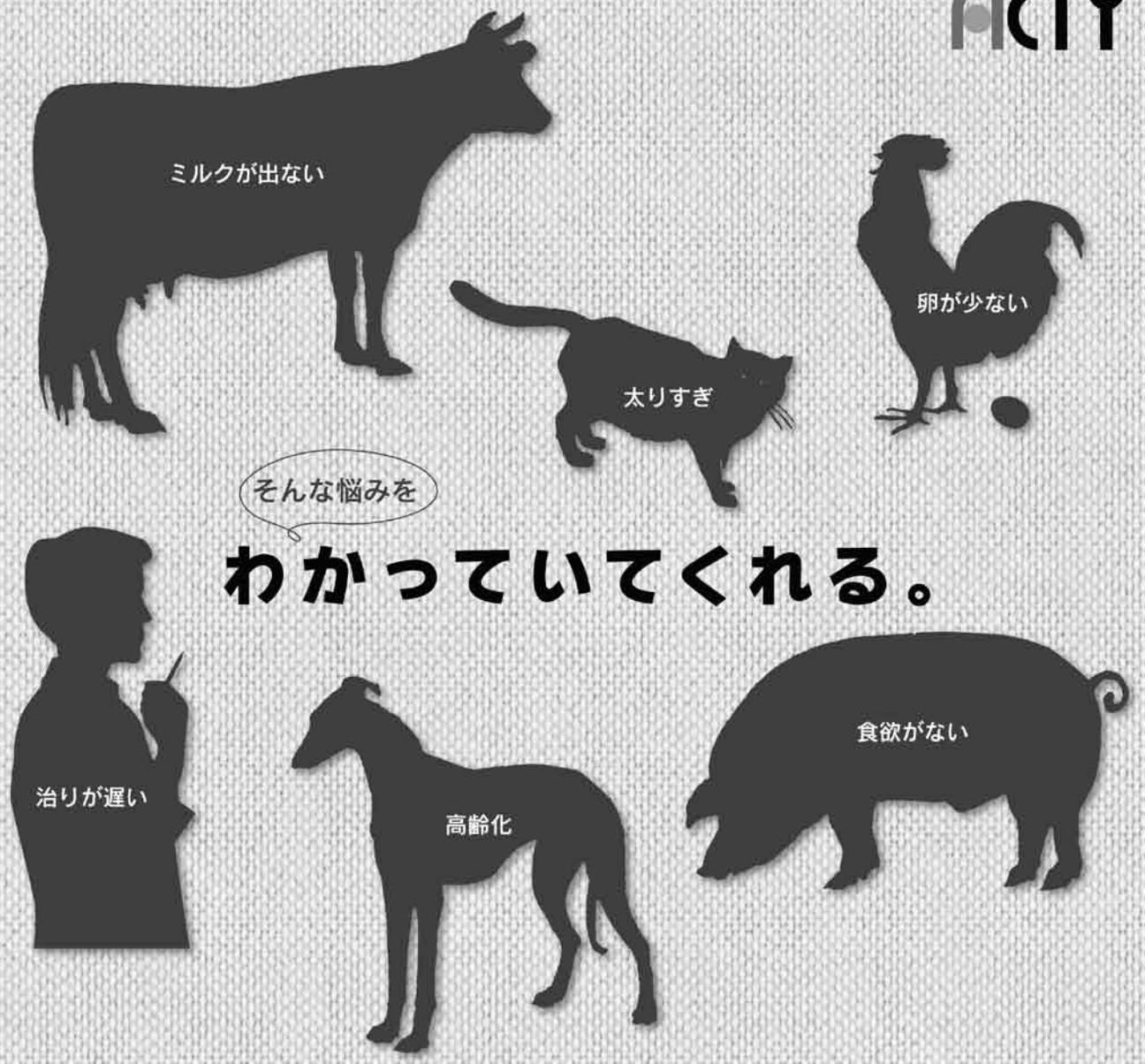
5　獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参　　考】
「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

社団法人日本獣医師会　平成22年度第1回理事会決定（2010年5月）

広告

ACTY



アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに
牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした
動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。
20世紀は抗生物質の時代、
21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、
健康に関する考え方も大きく変化してきています。
私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、
ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な
生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部
〒390-1301 長野県東筑摩群山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所
〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井 870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所
〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所
〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町 243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所
〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

アクティ株式会社 http//www.acty-kk.com